

安全報告書



2020年

熊本電気鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

日頃より弊社鉄道事業に対しまして、ご支援・ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、お客様の利便性の向上並びに安全の確保を重点目標として、それぞれの施策を実施してまいりました。さらにお客様の安全輸送を第一の使命とし、地域の皆様に信頼される公共交通機関として、法令遵守のもと安全・快適な移動のご提供に日々努力致しております。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、皆様に広くご理解を頂くために公表するものです。

今後とも、より安全で快適な輸送のために、ご意見・ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

代表取締役 中島敬高

2. 基本方針と安全目標

2. 1 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。安全に関する基本方針を次のように掲げ、安全輸送に努めております。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。

安全に関する行動方針は次のとおり定めております。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

2. 2 安全目標

2019年度の安全目標を次のとおり定めております。

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故(衝突・脱線・火災)	有責事故 0
	乗客の死傷事故	死傷者数 0
	踏切故障に伴う事故	発生件数 0

2. 3 目標に対する実績

安全目標に対する過去3年間の実績は次のとおりです。

年 度	2017	2018	2019
列車事故（衝突・脱線・火災）	0	1	0
乗客の死傷事故	0	0	0
踏切故障に伴う事故	0	0	0

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

3. 1 鉄道運転事故

過去3年間の鉄道運転事故の発生状況は次のとおりです。

※（ ）は死傷者数を示しております。

事故の種類	2017	2018	2019
踏切障害事故	4 (1)	2 (2)	0 (0)

2019年度の踏切事故は発生しておりません。今後、踏切事故0を維持するためにも踏切を通過される場合は、必ず踏切の手前で一旦停止していただき、左右の確認並びに列車の接近する音を確認していただき、踏切事故の防止をお願いいたします。

当社の列車運転士にも前方注視を怠ることなく、異常事態の早期発見で事故防止に努めるよう指導を行っておりますので、皆様にも踏切事故防止にご協力をお願いいたします。

3. 2 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2019年度は、2件の風害による運休が発生しております。

3. 3 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2019年度の輸送障害は3件発生いたしました。

内訳は次のとおりです。

- ① 台風の接近に伴うもの・・・・・・・・・・2件
- ② 車両故障に伴うもの・・・・・・・・・・1件

列車の運休におきましては、ご利用のお客様にご迷惑をかける結果となるため、今後も再発防止に最善を尽くし、皆様に少しでもご迷惑をおかけしないように努力して参ります。

3. 4 インシデント（事故の兆候）

2019年度、九州運輸局へのインシデント報告はありませんでした。

（注釈）インシデントとは事故に繋がる恐れのある事態。

3. 5 行政指導等

2019年度は、前年度である2018年11月26日～28日までの3日間並びに2019年2月12日～15日までの3日間、合計6日間に亘る保安監査が実施され、12項目の改善指示事項を受け、速やかに改善を行っております。

内容としましては、

- ・関係機関との連携の不備に対して・・・・・・2件
- ・軌道構造の改善に対して・・・・・・・・・・1件
- ・関係機関への報告に対する不備に対して・・1件
- ・社外も含めた連絡体制の不備に対して・・・・3件
- ・検査の不備に対して・・・・・・・・・・・・・3件
- ・施設の不備に対して・・・・・・・・・・・・・2件

今後は、2度の脱線事故を受け、利用者の皆様の信頼を損ねたことを肝に銘じて、安全・安心・快適が言葉だけのものとならないように、社員一丸となって安全に対する意識を持った業務に当たる所存でございます。

4. 輸送の安全確保のための取組み（安全重点施策）

4. 1 安全重点施策

2019年度の安全重点施策は次のとおり定めております。

- ハードの改善による、列車走行の安全確保（PC枕木化、道床碎石化）
- 既存施設の老朽化に対する補修や更新（レール、橋梁、電柱、踏切遮断機など）
- 確実な点検に基づく確実な修理や整備で、安全確保を行なう。
- 責任ある仕事を行なえる様に育成（再教育）を行なう。

4. 2 安全重点施策に対する実績

4. 2. 1 職員への教育

（1）異常時の取り扱い教育

2019年6月に信号機故障が発生した場合の取り扱いである、指導通信式の訓練を実施しました。その他、11月には社外（JR九州）訓練として、脱線車両の載線復旧訓練に参加しております。



（JR九州での訓練参加風景）



（社内教育風景）

4. 2. 2 設備対策

(1) 道床碎石化並びにコンクリート枕木化工事

2019年度も線路の改良として曲線部の安全を保つために、木の枕木からコンクリート枕木への取り替え工事、脱線防止ガードの増設などを行いました。

(2) その他の安全対策

その他の安全対策としまして、軌道保守工事（枕木更換、軌道整備工事、犬釘の増打ち）等、列車が安全に通行出来る環境整備を実施しております。

4. 3 鉄道事業の安全に対する設備投資額

過去3ヶ年の安全に対する設備投資額は以下のとおりとなります。

単位：千円

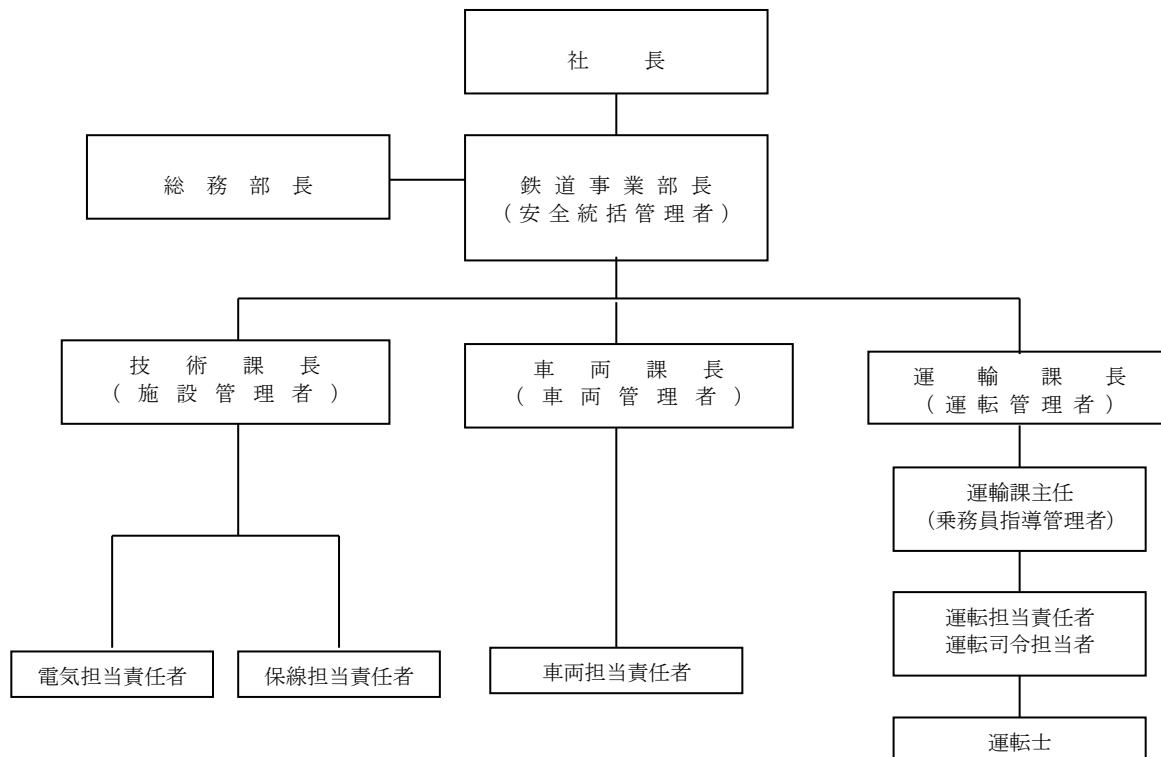
年 度	2017	2018	2019
安全関連設備投資額	55,790	20,737	47,906

2019年度の安全に対する主な投資につきましては、脱線防止ガードレールの設置やコンクリート枕木化等となります。

5. 当社の安全管理体制

5. 1 安全管理組織

当社では社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しております。この組織の中でそれぞれの責務を明確にした上で安全確保のための役割を担っております。



2020年4月1日現在

5. 2 安全管理

安全統括管理者を選任するとともに、経営者をはじめ輸送の安全の確保に係る役割を定めております。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄 道 事 業 部 長 (安 全 統 括 管 理 者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 輸 課 長 (運 転 管 理 者)	運転に関する事項を統括する。
運 輸 課 主 任 (乗 務 員 指 導 管 理 者)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
技 術 課 長 (施 設 管 理 者)	安全統括管理者指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 課 長 (車 両 管 理 者)	安全統括管理者指揮の下、車両に関する事項を統括する。

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

6. 1 こども110番の駅

当社の北熊本駅では『こども110番の駅』として、地域の子供達を守る為の取組みを行っております。

[主旨]

- ・ 「こども110番の駅」では、不審者（犯人）から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみでなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しく、親しみやすい駅づくりを目指します。
- ・ 「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めにきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。

6. 2 自転車の列車内持ち込みについて

自転車の列車内持ち込みは、雨・雪など自転車が濡れる天気を除き、平日は持ち込める時間帯を決めております。

当社の指定する日曜・祝日・年末年始以外の日曜・祝日は、終日持ち込み可能です。

[持ち込みについてのお願い]

- ・ 時間帯：平日・土曜の午前9時から午後3時30分まで（ラッシュ時間帯を除いたもの）
- ・ 雨の日及び雪の日など、自転車が濡れるような日の持ち込みはお断り致します。
(他のお客様の服などを汚す恐れがあるため)
尚、晴れの日でも団体等、多くの乗車がある場合にはお断りすることがあります。
- ・ 電車内は最前部が運賃支払い場所となっているため、自転車は後部車両に乗せていただき、安全のため必ず手で支えて下さい。

自転車の列車内持ち込みルールを守って頂き、ご利用をお願い致します。

6. 3 踏切、横断歩道での現地立ち合い

会社の役職者により、各交通安全運動並びに年末年始輸送に関する安全総点検期間中、鉄道の踏切や路線バスの沿線の横断歩道に、通勤・通学時間帯に会社の腕章を着けて立ち、地元の方々と共に、交通安全に対する取り組みを積極的に行なっております。

6. 4 あいさつ運動の実施

毎週木曜日の早朝、藤崎宮前駅とバスセンター、御代志駅の3箇所で、お客様から顔の見える会社として、安心して鉄道・路線バスをご利用いただけることを目的として、事務職員全てがローテーションを組み、鉄道や路線バスをご利用のお客様に対して行なっております。

6. 5 小学生の電車車庫見学の誘致

毎年秋頃に実施されます小学生の校外学習の際に、列車乗車体験、運賃支払い体験として、2019年度は34校ほど来社されており、その内の約半数の学校から車庫見学の依頼がございます。

車庫見学を行なう中で、電車にはハンドルがないため線路内で遊ぶことや置石をすることは危険な行為であることを実際の電車やポイントを使って学習していただくことで、列車事故や輸送障害の防止に努めております。



7. 問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

熊本電気鉄道(株)北熊本駅	
TEL 096-343-2552 FAX 096-343-2508	
E-mail rail@kumamotodentetsu.co.jp	
■月～金 8:30～17:30 (土日・祝日を除く)	